

令和4年度 第1回名取市生涯学習推進協議会概要記録

○日時	令和4年7月22日（金）午後3時より
○場所	名取市役所議会棟3階 第1委員会室
○出席者（8名）	大野 英子委員、和栗 幸一委員、須永 力委員、本郷 一浩委員、阿部 文男委員、齋藤 勇介委員、松田 道雄委員、高橋 真佐子委員
○欠席者（2名）	玉野井ゆかり委員、太田 裕子委員 教育長 潑澤 信雄 教育部長 菊池 博幸
○事務局出席者	生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐 佐藤 浩 主査 柳館 麗美
○傍聴人	なし

会議概要

1 開会 進行：佐藤課長

2 あいさつ

高橋委員長

続けてよろしくお願ひしたい。新しい委員の方の自己紹介をお願いしたい。

大野委員より自己紹介

会議成立の確認

名取市生涯学習推進本部設置要綱第8条2項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言した。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げた。傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

3 協議

(1) 生涯学習振興計画施策に係る令和3年度の実施状況及び令和4年度の取組について 高橋委員長

協議（1）、令和3年度なとりまなびフェスティバル（名取市生涯学習推進大会）について説明をお願いしたい。

事務局（佐藤補佐）

資料1、2により説明。

令和4年度第1回名取市生涯学習推進協議会 令和4年7月22日（金）

高橋委員長

これについてご意見、ご質問等いかがか。

大野委員

先日、なとりこどもファンドの公開審査会に参加させていただいた。各発表を拝見し、非常にいい取り組みをしているなど感じた。子供たちなりの視点で一生懸命考え企画し、それがどのような効果をもたらすのか、しっかり子供たちなりに考えていた。審査員自身も子供たちということでしっかり責任をもって発表を聞き、それに対する素直な疑問を投げかけていた。大人がなかなか気がつかない、子どもなりにするどい質問も出ていた。自分たちの生活、身の回りを見つめて暮らしをよりよく良くしていこう、主体性を持って取り組んでいこうという姿勢が見えたので、このまま続けていってもらえればと思う。

須永委員

あにまるずの子供たちには何回かお世話になっているが、あにまるずとしてどのくらいの活動回数になるのか。

佐藤補佐

手元に資料がなく、回数などは把握していない。

高橋委員長

回数を知りたいだけではなく、どのような活動をしていたのか、活動そのものの内容を知りたかったのか。

須永委員

昨年はどのくらいの活動出番があったのか。活動のお願いをしたことがあるが、タイミングが合わずお願いすることができなかつた。あにまるずの定例会が月に1度あると聞いているが、その時に活動のお願いをし易く成ればよいかなと思う。

阿部委員

名取市スポーツ協会の職員が毎年1人ずつ辞めている。指定管理制度の中で給与の問題も含めて生活の保障がないというのがあるのではないかと感じている。学校で学んできたもの、スポーツで学んだことや体験したことでそういう人材が重視されるような環境に収まっていく、人材育成を含めて考えているので、検討していただければと思う。

瀧澤教育長

スポーツ協会については、今年度からまた5年間指定管理をお願いしている。職員が辞められることについては、色々な事情で辞めていると聞いている。スポーツ協会内部の運営については、基本的にはスポーツ協会の方で検討していると思う。指定管理をお願いしている以上、職員体制、活動内容等も充実したものにしていただきたいという思いはあるので、今後とも情報を共有しながら取り組んでいきたいと思う。貴重なご意見に感謝する。

松田委員

各公民館のWi-Fiの設置状況についてお聞きしたい。

佐藤補佐

新しい公民館を含めて、整備の方はひと通り一巡している状況である。

本郷委員

3ページ目の文化芸術の学びの項目がありますが、文化協会の会長をしているのですが、文化協会に後継者が入らないというか、繋がっていないか。公民館でも色々な講座があるが、これが

令和4年度第1回名取市生涯学習推進協議会 令和4年7月22日（金）

文化協会へ繋がっていかない。繋げていかなくてはならないと悩んでいる。文化協会としては個人団体を含め29団体、500人弱でみんな高齢化している。名取市には芸術の分野ですばらしい方がたくさんいる。お声がけをしてもなかなか良い返事をもらえない。公民館の講座で終わるだけではなく、その人の生涯学習として繋がっていく仕掛けができるかと思う。教育委員会においても側面から尽力いただければと思う。

和栗委員

聞いたことがあるのだが、公民館主催でやるものについては、自分のお金が掛からないそうであるが、ところが団体に入ると年会費等の出費があつて何のためにやっているかわからないと言っていた。私も募集をかけたが、会費のことを必ず聞かれる。あと、入ってしまうと自由が利かないし、会があれば参加しなくてはならないということで、そこら辺の問題も出てくる。

本郷委員

どこの団体に入つてもそういう問題は出てくるのだが、文化協会は市のほうから文化会館の利用については無料で使用できるので優遇はされている。組織として運営していくためにはそれなりのお金も掛かるし、自分の生涯学習としての中身なので、お金が掛かるからやめますとか入らないというのは生涯学習にならないと思う。

高橋委員長

それぞれの立場でこういったお話を出していることを広めていく役目があるのかなと思う。

本郷委員

余談であるが、年に1回芸術祭を行うが、文化会館を使用するのには料金がかからないが、ワクステージ発表をするために個人や団体で1万から2万円の費用が掛かる。

和栗委員

事務経費が掛かるなどをみなさんはわかつてくれない。

高橋委員長

他にご質問等いかがか。

特になしのため、原案のとおり承認することに決定する。

（2）なとりまなびパスポート事業（案）について

高橋委員長

次になとりまなびパスポート事業（案）について説明をお願いしたい。

佐藤課長補佐

資料3により説明。

高橋委員長

ご質問ご意見等いかがか。

和栗委員

どのようにアピール、宣伝していくのか。

佐藤補佐

広報なとりやホームページ、さらに各施設に設置しておすすめしていただく形、折に触れて目に入るようを考えている。

須永委員

年間50ポイントは実現可能なのか。

令和4年度第1回名取市生涯学習推進協議会 令和4年7月22日(金)

佐藤補佐

我々の試算ではできるのではないかと設定している。実は公民館長からは厳しいのではないかという声もいただいている。実施する事業の数等を考慮して精査したいと考えている。

和栗委員

スタンプはただのハンコではなくて、集める楽しさの点で御朱印帳のような形にしたほうが魅力を感じる。

齋藤委員

取組については賛成である。形は違うが、那智が丘の児童センターと公民館の共同の取り組みで、「なちこどものくに」という事業を計画している。ポイントで地域の野菜を買える。参加ポイントの使い道として、生涯学習活動に絡めた使い方をした視点があるとよいのかなと思います。50ポイントなくても使い道があればいいと思う。

須永委員

有効期限が1年間というのは何か理由があるのか。3年かけてマイスターを目指す人がいてもいいのかなと思う。

佐藤補佐

年度毎で区切りをつけたいと考えた。また3年連続マイスターになった方に特別な表彰を検討したいと考えている。

高橋委員長

学校の遠足で訪ねた資料館はポイントに入るのか。

佐藤補佐

検討中である。※学校活動は対象外。

高橋委員長

他にいかがか。それでは案を消していただき、実施予定ということでお願いしたい。

(3) 成人式の名称変更について

高橋委員長

次に成人式の名称変更について説明をお願いしたい。

佐藤課長補佐

資料4により説明。

高橋委員長

ご質問ご意見等いかがか。

協議の中ではその他はないが以上でよろしいか。

事務局(佐藤課長)

令和4年度第1回名取市生涯学習推進協議会の一切の終了を宣言。

4閉会

15:50 終了

以上